

### 3 分 掌 業 務 内 容

担当分掌及び主な業務内容			
主事会	小学部主事 中学部主事 高等部主事 (拡大：各部長、保健主事)	学部内の運営調整、学部間の連絡調整、教育課程の編成、年休・出張・公文書の点検、教育相談、転出入、学籍の手続、卒業証書、台帳、儀式的行事、学部会計、地域と共にある学校づくりの推進、学校整備、施設改善、AIG保険、入学説明会、講師調整(教務と協議)、公費購入計画、教材予算配当	
	教育課程	教育課程の検証及び次年度教育課程表の編成 時間割調整(会議)、特別教室配当・調整、授業補欠の連絡調整 通知表・指導カルテ・指導要録の説明と管理、教科連絡会、小中高連絡会	
教務部	教育指導計画 評価、記録等の管理	年間指導計画、個別の指導計画(評価)、年間計画A表、振り返りB表	
	行事等	家庭訪問、個人懇談、授業参観(各学部)	
	教科書	教科書に関する指示・報告等	
	月末統計	月末統計・県報告	
	その他	教育課程委員会の運営、教育実習、介護等体験	
	*出張が必要な主な会議	県・南部・特支教務研、介護等体験に関する会議	
総務部	PTA関連	PTA総会、PTA役員会、各専門部活動(運動会、ふれあいまつりなど)、ヘルマーク	
	教材等購入・管理	学校整備・施設改善(事務室と連携)、教材備品保管・点検	
	行事等	始業式・終業式・修了式の企画・運営、教員名札・保護者名札・緑リボンの管理	
	環境美化	学校清掃、環境美化の配当、清掃用具の整備	
	駐車場管理・運営	全体行事での駐車場管理・運営	
児童生徒指導部	生活指導	校内外生活指導、関係諸機関との連携、緊急捜索	
	自治活動	児童生徒会活動、専門委員会、生徒会役員会、放送当番	
	通学指導	スクールバス乗車指導、単独通学指導、交通安全指導、スクールバス連絡会	
	情報管理	児童生徒証(ヘルプカード)、捜索用カードの作成と管理	
	行事等	交通安全教室、単通生安全教室、スマホマナー学習、昼休み集会	
	*出張が必要な主な会議	奈良県高等学校生徒指導研究協議会、南部生指協、特支生指研究協議会、関係機関との連絡会	
進路指導部	進路指導 職場開拓	進路相談、保護者進路研修会、進路個人懇談 職場開拓、事業所・施設等の現場実習先の開拓 現場実習に関する指導、関係諸機関との連携	
	行事等	学校見学会、地域別タウンミーティング(PTAとの連携)、卒業生を囲む会	
	研修・啓発・支援	教職員研修・施設見学、進路だより、進路情報等の発信、拡大ケース会議への参加	
	情報管理	進路関係情報(児童生徒、卒業生等も含む)の整理と管理	
	*出張が必要な主な会議	特別支援学校進路指導研究協議会、自立支援協議会	
研究部	研究推進	学部研究と「全体研究の日」の推進、実践と研究のまとめ「轍」編集、「轍」報告会	
	研修案内・図書	各種研究大会・研修会の案内、資料回覧、研修報告会の企画 教師用図書・児童生徒用図書の購入・管理	
	職員研修	校内研修会(講演会)、公開授業研究、ワークショップ、アイデア宝箱、オープングラス	
	人権教育、交流及び共同学習	毎月11日「人権の日」、高校の先生のためのオープンスクール、各種奨学金、資料回覧・保管、就学保障 学校間交流、居住地校交流、校内交流、道徳教育推進委員会	
	*出張が必要な主な会議	奈特研・高人教推進会議・研究部情報交換会	
情報教育部	ホームページ運営	HPの更新、メールの確認	
	学校経営計画の編集	学校経営計画の年度更新作業 PDF化等	
	校務支援システムの管理	校務支援システムの推進、各種名簿データ等の更新・データバックアップ等	
	ネットワーク管理	ネットワークの管理・安全対策	
	放送機器等の管理	放送機器の管理・行事での機器準備、説明 行事や式典等のビデオ機器の準備、ビデオ録画と編集 各種使用簿の作成と管理、予算の計画と執行	
	各種調査	各種調査、アンケートの回答	
	職員研修	新着任者研修、情報教育研修	
パソコンの保守・管理	パソコンのトラブル処理、連絡		
*出張が必要な主な会議	奈特メディア事務局員、外部放送教育団体との連携		
文化部	学校行事	ふれあいまつり、文化鑑賞会、大淀看護学校アート展、おはなし広場	
	作品・出展	特別支援学校アート展、奈良県障害者作品展、大神神社書き初め等	
	校内掲示	ポスターの掲示及び整理、作品の展示・管理	
*出張が必要な主な会議	アート展実行委員会、高等学校総合文化祭		
(学部主事)	相談・支援	校内	学部支援会議・校内支援会議・拡大ケース会議の企画(学部主事)、自立活動の指導の充実、校内教育相談
		地域	就学相談・入学相談や体験学習の準備・運営、新入生に関わる連携(各学部)
	検査	教育相談・訪問相談「つむぎ」・特別支援教育に関する研修会講師等の担当調整	各学部必須検査の計画運営・研修会企画、発達(知能)検査結果の分析、希望検査の準備・運営・報告会・研修会企画
		地域支援関係行事	実践ヒント交流会、「小・中学校の先生のためのオープンスクール」の企画運営
		個別的教育支援計画	記入相談・管理運用(学部主事)、マニュアル・記入例作成、研修会企画
	職員研修	職員研修・部内研修の企画運営	
	*出張が必要な主な会議	特別支援教育担当者連携協議会(第5、6ブロック)、自立支援協議会、市町村教育支援委員会など	
保健体育部	《体育・安全教育係》		
	行事等	運動会・水泳指導の計画及び運営、障害者スポーツ大会	
	管理	運動場、体育館、体育倉庫、プール、体育備品、AED	
	職員研修	体育、スポーツに関する研修計画立案と実施	
	*出張が必要な主な会議	保健体育学会、安全教育研究会(防災安全教育部と連携)	
	《保健係》		
	保健管理	学校保健安全計画に基づく健康管理、健康指導計画の立案・推進、衛生管理の計画立案	
	学校給食	給食実施にかかわる調整・連絡	
	行事等	歯の染め出し週間等の保健指導	
	職員研修	保健・救急に関する研修立案(心肺蘇生法・救急法) 校内学校保健委員会の企画・運営、新着任研修	
食育推進	食育指導、給食指導、食育推進委員会		
*出張が必要な主な会議	県高養研、障害者スポーツ大会担当者会議		
防災安全部	防災教育	防災計画の作成、避難訓練の計画・実施、防災の日、防災研修、火元安全点検責任者の配当	
	安全・安心	不審者対策、赤リボン管理、安全点検、安全教育(生徒指導部、保健体育部と連携)	

#### 4 年間行事計画表（全校行事・学部行事） 令和5年5月9日現在

部 月	全校行事	学校行事		
		小学部	中学部	高等部
4	10. 離任式・始業式 11. 着任式 12. 高入学式 13. 小中入学式 24～5/1. 家庭訪問	17. 新入生歓迎会	17. 新入生歓迎会	17. 新入生歓迎会
5	9. 地震火災避難訓練	10.低学年学級懇談会・保護者進路研修会 15.低学年学級懇談会・保護者進路研修	12. 春の遠足	8. 高3保護者進路研修会・修学旅行説明会 9～. 進路個人懇談（1.2年） 18.高2 宿泊説明会、学級懇談 24～26 高3 修学旅行
6	3. 小学部うんどうかい		8～9.宿泊学習（中2）	8～9高2 宿泊学習 15.高3 授業参観、学級懇談 現場実習 27.高1学級懇談、保護者進路研修会、宿泊説明会
7	18～19. 個人懇談 21. 終業式	11. 校外学習（低学年）		現場実習
8		3. 登校日 18. 登校日	4. 登校日 21. 登校日	7. 登校日 現場実習
9	1. 始業式 28. 創立記念日	5. 学部集会（夏まつり集会） 21～22. 宿泊学習（5年生）		5. 高1 校外学習 現場実習
10	7. 中学部・高等部体育大会 22. 卒業生を囲む会	19～20. 修学旅行 26. 秋の遠足（低学年） 27. 授業参観（高学年） 31. 授業参観（低学年）	25～27. 修学旅行（中3）	22. 高2.3 校外学習 現場実習
11	10. ふれあいまつり	27. 大淀緑ヶ丘小学校との交流会		17. 大淀/奈良南高校との交流会 28. 体力づくり記録会 現場実習
12	19～20. 個人懇談 19～20. 大淀養護アート展 22. 終業式	18. 学部集会	現場体験学習 14. 校外学習 15. 学部集会	18. 学部集会
1	9. 始業式	10. 学部集会（新年集会） 11. 交通安全集会（低学年） 25. 大淀緑ヶ丘小学校との交流	24. 授業参観① 25. 授業参観②	18. 授業参観（高1） 現場実習
2	16. 小学部・中学部入学説明会 28. 高等部入学説明会	1. 校外学習（低学年） 6. 交通安全教室（高学年） 15. 授業参観（高学年） 16. 一日入学 22. 校外学習（高学年）	16. 一日入学 27 校外学習	19.高3保護者会 19～26 高3 個人懇談 27.高3 校外学習
3	8. 高等部卒業式 12～13. 個人懇談 15. 小学部・中学部卒業式 19. 修了式	4. お別れ集会	4. お別れ集会	5. 高1・2 校外学習

	保健体育部	文化部	総務部	支援教育部	防災安全部
4	新着任者研修 アレルギー対応研修 坐薬連絡会 学校保健安全年間計画立案 障害者スポーツ大会 定期健康診断		離任式 着任式 始業式 PTA新旧役員会	教育相談案内 小学部就学相談案内 中学部就学相談案内 高等部入学相談案内 リーフレット送付 個別の教育支援計画研修	新着任研修 防災計画立案 防災マニュアル配布・ 不審者侵入時危機管理 マニュアル掲示 校内見 取り図掲示 安全点検場所配当(教 員) 非常持ち出し袋の配布 (外部新入生) 引き渡し確認表アン ケート
5	水泳指導計画立案 環境衛生検査(飲料水) 障害者スポーツ大会陸上 担当者会議 プール掃除	おはなし広場	PTA総会 PTA進路部会 PTA体育部会 PTA広報部会 PTA地域活動部会	検査研修 希望検査受付 実践ヒト交流会案内送付 実践ヒント新着研修	不審者対策研修
6	中高運動会計画立案 プール機器研修 小学部うんどうかい 照度検査 整形外科健診		小運動会 PTA役員会	小学部就学相談(個別体 験学習)(~12月) 中学部体験学習 高等部入学相談(~11月) 小中学校の先生のための オープンスクール	避難訓練
7	精神科相談 プール水質検査 備品点検 夏休みプール開放 秋の内科健診立案	第1回ふれあいまつり担当者説明会	PTA新聞発行 備品点検 終業式	希望検査研修 実践ヒント交流会	
8	夏休みプール開放 害虫駆除	ふれあいまつり準備・計画	学校清掃作業	中学部体験学習案内文書 作成 送付 学部別研修	防災研修 備蓄品の確認
9	中高体育大会全体練習開始 中高体育大会準備 定期健康診断 除草作業 害虫駆除 環境衛生検査	ふれあいまつり校内審査会議 第2回ふれあいまつり担当者説明会 県障害者作品展出品報告書提出	始業式 PTA役員会 PTA体育部会 学校清掃作業	高等部入学相談 (中学部3年保護者対象) 高等部体験学習 (中学部3年対象)	単通生安全教室 (生徒指導部と連携)
10	中高体育大会 定期健康診断 秋の内科健診 スポーツの日	おはなし広場 ふれあいまつりアレルギー連絡会	中・高 体育大会 卒業生を囲む会 PTA進路部会 PTA事業部会 PTA広報部会 PTA保護者交流会 PTA役員会	中学部体験学習 小中学校の先生のための オープンスクール	
11	歯磨きがんばり週間 歯の染め出し週間 定期健康診断 秋の内科健診 照度検査 整形外科相談	ふれあいまつり職員打合せ ふれあいまつり前日準備 ふれあいまつり	ふれあいまつり PTA事業部会 PTA役員会	中学部体験学習 (小学部6年対象)	避難訓練
12	定期健康診断 精神科相談 歯科衛生士来校指導 新入生健康確認会議	奈良県障害者作品展 文化鑑賞会 大淀養護学校アート展	備品点検 終業式		
1	障害者スポーツ大会事務 担当者会議	大神神社書き初め	始業式 PTA地域活動部会 PTA事業部会 PTA進路部会 PTA広報部会 PTA進路部会		
2	環境衛生検査 精神科相談 小学部うんどうかい計画 立案		PTA役員会		防災の日(防災集会) Sバス待避場所の確認
3	備品点検 定期健康診断計画立案	次年度文化鑑賞会立案・出 演者依頼 ※校内展示作品の入れ替え (随時)	PTA新聞発行 備品点検 修了式 職員作業		備品整理 非常持ち出し袋点検 (来年度外部新入生分等 購入) ※安全点検の集約 (各月)

年間通して

就学・入学相談

教育相談

奈良県立大淀養護学校 中期計画（案）

【特別支援学校用】

対象期間	令和4年4月～令和7年3月
教育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 児童生徒一人一人の人格と人権を尊重し、障害の状態や発達段階、生活実態を的確に捉え、「自分の意見や思いを伝え行動し、主体的に生きることができる児童生徒」を育てる。</li> <li>◇ 創意工夫を凝らした教育活動を展開する中で、一人一人の特性や能力に応じて社会参加と自立に必要な力を養い、健康で心豊かな児童生徒を育成する。</li> </ul>
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全ての子どもの発達を保障し、心豊かな子どもを育てるために、全教職員の創意と特性を生かし、指導計画を立てる。12年間を見通し、子どもの生活年齢や発達段階からくる要求を大切にしながら、小・中・高一貫した指導に努める。</li> <li>* 教職員の力量を高め、組織的な教育活動を展開し、見直しを行う。子どもの実態と発達課題にあった教育内容づくり及び指導方法の工夫と教材・教具の開発に努める。教育環境の整備・充実を図り、教育成果の向上に努める。</li> <li>* 家庭、地域及び関係諸機関（福祉、医療、労働、教育等）との連携を密にし、共通理解を図りながら取組を進める。</li> </ul>

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標	計画期間における具体的目標
1. こころと身体を子どもの成長に合わせてはぐくむ	一人一人の障害の状態や特性に応じた「自立活動」に取り組む	学部ごとに「自立活動」についての研修を通し、より個々の実態に迫った指導の充実に取り組む。
	児童生徒の健康・安全に関する校内体制の充実	ヒヤリハット、気になる事象の情報を共有し、教職員一人一人が再発の防止に取り組む。発作やアレルギー対応研修の計画・実施 また、アクションカードの活用に向けての改善の検討
	食育の推進、児童生徒の体力・運動能力、運動習慣の向上	各学部で全体計画に基づいた授業の計画、教材の作成・活用
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはぐくむ	小低・小高・中・高それぞれが果たす役割とつながりを大切に、12年間を見通しながら各教育課程の特色化を推進	各教科の位置づけを明確化し、三つの観点を意識した目標設定や評価について検討を進める
	子どもが自分で主体的に考えたり活動したりする体験型の授業の推進・充実	個別の指導計画のマニュアルの運用を進めながら、目標設定、評価指導と評価の一体化（3観点）の視点を大切に、授業改善を行う
	ICT等の有効に活用、学習の個性化、双方向での学習の推進	児童生徒の発達段階に応じたICT機器の活用に向けて校内研修の実施。また、教材やアプリについての情報共有。
3. 働く意欲と働く力をはぐくむ	各ライフステージに応じた関係機関等と連携し、適切なキャリア教育と進路指導の充実を図る。	各ライフステージに応じた機関連携を大切に、組織力（担任・進路専任・主事・学年主任・学年進路）を活かした進路指導を推進
	福祉、労働等の関係機関と連携した情報発信	自立支援協議会等を活用し、学校・家庭・各市町村等の関係機関が共通の課題を意識し、解決に向けて連携
	一人一人の社会参加と自立を目指して各地域の関係機関との連携	学校見学会、地域別タウンミーティングを実施し、各市町村、福祉事業所の方へ学校での取組や様子等についての情報提供
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域資源を活用した学習の推進	地域の協働推進事業の推進及び児童生徒の実態や課題に応じた地域資源の活用
	学校運営協議会の運営・推進	学校運営協議会の意見を反映した学校運営の推進
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	いじめ防止対策や人権を尊重する意識の向上	いじめ防止基本方針に則り、ささいなことも見逃さずに積極的に認知していく。また、スクリーニング会議を実施して適切な支援を検討する。人権に関わる研修の実施。
	特別支援教育に関する理解啓発	交流及び共同学習の推進。
	南部地域の特別支援教育のセンター的機能の推進	地域の保育園・所、小中学校等のニーズに応じた効果的で適切な指導や支援の方法について相談を実施。また、適切な就学に向けて各市町村の教育委員会との連携。
	個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した切れ目のない支援の実現	保護者との連携、福祉や医療、労働等の関係機関と連携を図り、付けたい力や具体的支援の共有

令和5年度 奈良県立大淀養護学校 学校評価総括表

【特別支援学校用】

年度	令和5年（計画2年目）
教育目標	◇ 児童生徒一人一人の人格と人権を尊重し、障害の状態や発達段階、生活実態を的確に捉え、「自分の意見や思いを伝え行動し、主体的に生きることができる児童生徒」を育てる。 ◇ 創意工夫を凝らした教育活動を展開する中で、一人一人の特性や能力に応じて社会参加と自立に必要な力を養い、健康で心豊かな児童生徒を育成する。
年間重点目標	・個々のニーズに応じた効果的な指導を行うため、検査結果や専門家の意見、行動観察などから多角的に実態把握を行い、アセスメントに基づいた指導内容・指導方法の工夫と改善を進める。 ・小、中、高のつながりを大切にするとともに、小低、小高、中学部、高等部の4つの教育課程の特色化を図るとともに、12年間を見通して、役割分担をし、積み上げていく。 ・各ライフステージに応じた関係機関と連携し、適切なキャリア教育と進路指導の充実を図る。 ・児童生徒が安心して学校生活がおくれるよう、安全の確保に努め、安全教育と防災教育の推進を図る。健康教育の充実に取り組む。 ・授業研究や研修の充実を図り、授業力や指導力を向上させる。 ・南部地域の特別支援教育のセンター的機能を果たすため、訪問相談「つむぎ」を中心に、地域への効果的で適切な支援を行う。 ・一人一人がお互いを大切な存在として捉えることができるような「つながり」を築きまた深められるよう、豊かな社会性や人間性を育てる。「地域とともにある学校づくり」を推進する。 ・教育の質の向上を図るためにこそ、勤務時間管理の徹底と勤務時間・健康管理を意識した働き方を推進する。

運営方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 全ての子どもの発達を保障し、心豊かな子どもを育てるために、全教職員の創意と特性を生かし、指導計画を立てる。12年間を見通し、子どもの生活年齢や発達段階からくる要求を大切にしながら、小・中・高一貫した指導に努める。</li> <li>* 教職員の力量を高め、組織的な教育活動を展開し、見直しを行う。子どもの実態と発達課題にあった教育内容づくり及び指導方法の工夫と教材・教具の開発に努める。教育環境の整備・充実を図り、教育成果の向上に努める。</li> <li>* 家庭、地域及び関係諸機関（福祉、医療、労働、教育等）との連携を密にし、共通理解を図りながら取組を進める。</li> </ul>
------	---

奈良県教育振興基本計画（「奈良の学び推進プラン」）が示す各テーマごとの学校教育目標

テーマ	学校の教育活動に関する目標(A)	計画期間における具体的目標(B)	令和5年度末の目標値等(C)	令和5年度末の状況(D)	自己評価(E)	学校関係者評価(F)	改善方策(案)
1. 心と身体を子どもの成長に合わせてはくむ	一人一人の障害の状態や特性に応じた「自立活動」に取り組む	学部ごとに「自立活動」についての研修を通し、より個々の実態に迫った指導の充実に取り組む。	・各学部研究の実施。（小学部5回、中学部3回、高等部3回） ・検査結果等も参考にしながら個々の実態に迫った目標の設定、指導内容を充実させる。				
	児童生徒の健康・安全に関する校内体制の充実	ヒヤリハット事象等、教職員一人一人が意識的に再発の防止に取り組む。発作やアレルギー対応研修の計画・実施 また、アクションカードの活用に向けての改善	・ヒヤリハットや気になる事象についての情報を全教職員での共有（2回） ・アレルギー対応研修の実施（1回）、心肺蘇生法・AED講習会の実施（1回） ・アクションカードの内容改善に向けて検討（3回）				
	食育の推進、児童生徒の体力・運動能力、運動習慣の向上	各学部で全体計画に基づいた授業の計画、教材の作成・活用	・食育推進委員会の開催（2回） ・食に関する指導の全体計画に基づいた授業の実施（年3回） ・教材の作成				
2. 学ぶ力、考える力、探求する力をはくむ	小低・小高・中・高それぞれが果たす役割とつながりを大切に、12年間を見通しながら各教育課程の特色化を推進	各教科の位置づけを明確化し、三つの観点を意識した目標設定や評価について検討を進める	・各教科会の実施。見直した内容について実践を深めながら学校全体で共有し、カリキュラム・マネジメントを積極的に推進する。 ・学部研修の実施（2回） ・授業観察(ユニット案の作成)の実施				
	子どもが自分で主体的に考えたり活動したりする体験型の授業の推進・充実	個別の指導計画のマニュアルの運用を進めながら、目標設定、評価指導と評価の一体化（3観点）の視点を大切に、授業改善を行う	・各学部の研修で進め、学部、校内全体での共有（小学部：遊びの指導、中学部：数学、高等部：職業科） 小学部3回、中学部3回、高等部3回）				
	ICT等の有効に活用、学習の個性化、双方向での学習の推進	児童生徒の発達段階に応じたICT機器の活用に向けて校内研修の実施。また、教材やアプリについての情報共有。	・校内研修の実施(chromebook活用研修含む)（3回） ・積極的活用に向けて職員会議を通じて教材やアプリ等の紹介				
3. 働く意欲と働く力をはくむ	各ライフステージに応じた関係機関等と連携し、適切なキャリア教育と進路指導の充実を図る。	組織力を活かして各ライフステージに応じた関係機関等との連携をすすめ進路指導を推進する。	・キャリア教育に関する職員研修を各学部毎に実施（小学部2回、中学部2回、高等部3回） ・進路指導の手引きの改訂 ・教職員の事業所見学（2回） ・夏休みワークショップにて、キャリア教育についての分科会を実施				
	福祉、労働等の関係機関と連携した情報発信	学校見学会、地域別タウンミーティングを実施し、各市町村、福祉事業所の方へ学校での取組や様子等についての情報提供	・自立支援協議会への参加（各部会5回） ・地域別タウンミーティングの開催（3回） ・保護者進路研修会（各学年1回） ・保護者事業所見学会（2回）				

	一人一人の社会参加と自立を目指して各地域の関係機関との連携	各関係機関と必要に応じてケース会議等を実施し、共通理解、連携をはかる。	・児童生徒の実態や家庭のニーズに応じた事業所や就労先等との連携				
4. 地域と協働して活躍する人を育てる	地域資源を活用した学習の推進	地域との協働推進事業の推進及び児童生徒の実態や課題に応じた人的・物的な地域資源の活用	・地域の外部講師との交流及び体験学習の実施（小学部2回） ・現場体験学習や職場体験学習の取組（中学部2回） ・地域との協働推進事業に取り組み				
	学校運営協議会の運営・推進	学校運営協議会の意見を反映した学校運営の推進	・学校運営協議会の開催（年2回）				
5. 地域で個性が輝く環境と仕組みをつくる	いじめ防止対策や人権を尊重する意識の向上	いじめ防止基本方針に則り、ささいなことも見逃さずに積極的に認知していく。また、スクリーニング会議を実施して適切な支援を検討する。人権に関わる研修の実施。	・人権教育に係る研修（1回） ・いじめ問題対策委員会の実施（3回） ・スクリーニング会議の実施（1回） ・「おおよどほっと通信」の発行(月1回)				
	特別支援教育に関する理解啓発	交流及び共同学習の推進。	・学校間交流(小2回、中 作品交流、高 1回) ・居住地校交流の実施(小・中学部希望者) ・交流に向けた学校紹介パンフレットの活用				
	南部地域の特別支援教育のセンター的機能の推進	地域の保育園・所、小中学校等のニーズに応じた効果的で適切な指導や支援の方法について相談を実施。また、適切な就学に向けて各市町村の教育委員会との連携。	・訪問相談「つむぎ」・オンラインでの教育相談の実施 ・実践ヒント交流会（1回） ・小中学校の先生のオープンスクール（期間を設定） ・各学部就学（入学）相談の実施 ・教育支援委員会に参加（8市町村）				
	個別の教育支援計画、個別の指導計画を活用した切れ目ない支援の実現	保護者との連携、福祉や医療、労働等の関係機関と連携を図り、付けたい力や具体的支援の共有	・保護者と長期目標や短期目標、手立ての共有 ・必要に応じて利用事業所や実習先、進路先等との情報を共有 ・福祉事業所との連携（学校訪問事業）（2回）				

3 評価結果の分析、今後の改善方策等